

未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

第6回 産業分科会 議事録

日時	平成21年11月2日(月) 18:00 ~ 19:40		
場所	長浜市役所 本館3階第1会議室		
議題	中間報告書の確認、生活文化に根ざした産業の振興及び就労機会の拡大について		
出席者	分科会委員*敬称略 吉田豊、村上宣雄、伊藤兵一郎、国友隆房、嶋崎善弘 森田義人、松本長治、稲田司		
市	分科会事務局(商工振興課) 大塚義之、小谷勝也		
6町	なし		
傍聴者	あり(人) (なし)	報道機関	あり() (なし)

【協議結果】

- ① 中間報告書の確認
 - ・中間報告書(案)を別紙のとおり修正した。
- ② 次回日程とテーマ
 - ・次回日程 11月16日(月) 18:00~
 - ・次回開催場所 「長浜市役所本館3階第1会議室」
 - ・次回テーマ 「産業分科会提言のまとめ」
- ③ その他
 - ・長浜市議会の構成が変更されたことに伴い、空席となっていた分科会長に、吉田豊委員が就任。

【主な意見】(要点列記)

冒頭：新分科会長に吉田豊委員が選出され、承認される。

会長 本日の議題は、分科会中間報告書の確認と、残っているテーマ“生活文化に根ざした産業の振興及び就労機会の拡大”について協議いただくことであるが、後者はこの分科会の総論的な部分であるため、今回の中間まとめの協議の中で、みなさんには発言いただきたいと思う。

事前に配布されている中間報告書(案)について、順番に発言いただきたい。

A委員 疑問点が2点ある。(1)産業の育成の中で“農地法の関係で企業誘致ができなかった”という表現はどうか。これまでの過程で行政の力が及んでいなかっただけであり、農地法の関係というよりも取り組みが弱かっただけと考える。次に(4)の環境に配慮した農林水産業の中で“生産性の悪い農地や放棄地を工場地や住宅地へ転用する”というのは正しいことなのか。住宅地には住宅

地の適正がある。簡易的な理由すぎないか。それ以外は良いと思う。以上2点を疑問に思う。

B委員 問題点が見つからない。よその分科会との兼ね合いはどうかかわからないが、きれいにまとまりすぎていて、これだけを見るとたいした意見が出ていなかったという印象を受ける。私は民間から中小企業代表として出席しているが、(3)次世代成長産業の振興の中で、“できるだけ投資が少なくして済む開発が必要です。”という記述はどうかと思う。みんなの意見を取り入れたまとめが良いのか、もっと特徴のある意見を入れたほうが良いのか、どちらかを選択するかで違ってくる。

C委員 このまとめは、気をつけていかなければならない点だけが書かれているという印象。特にここはという分科会として強調すべき点は記述すべきである。文章の中で直したほうが良いと思ったことは、(2)観光交流産業の振興の中の“歴史教育”を“自然・歴史・文化”に変えること、(3)次世代成長産業の振興の中の“工業製品なども”の前に“農産物の他”を入れること、“農地を工業団地にできるように”を“農地を工業団地に転用できるように”に変えること、(4)環境に配慮した農林水産業の中の“組合”を“森林組合”に変えること。

D委員 あたりさわりのない何のインパクトもない文章。唯一強調され、同調するのが(1)産業の育成の中で、農地法の関係で企業誘致ができなかったという表現。その他気づいた点は、(3)次世代成長産業の振興の中に、技術者の招致や技術を持った人間が育つ環境整備の話が抜けている。このまとめの中には現在の問題点が出ていない。

E委員 何を提言するかということが議論されていなかった結果、こういうまとめになってしまったのかと思う。分科会における強い方向性を提言としてまとめないといけないのではないか。(5)定住人口を確保するまちづくりの中の“市の中心に企業を誘致し”という表現は、視点が限定されすぎであり、もっと広範囲で将来に希望が持てるような内容を入れるべき。

F委員 みなさんの立ち位置が違う。いろんな立場の方でまとめるとこういう文章になってしまう。多少偏ってでも、今後の長浜の特徴がでるような提言とすべきでは。(5)定住人口を確保するまちづくりの中の“居住地域を適度に分散させる”という表現には賛成。

G委員 (3)次世代成長産業の振興の中の“農地を工業団地にできるようにする制度改革”と、(4)環境に配慮した農林水産業の中の“生産性の悪い農地や放棄地については、工場地や住宅地への転用”という表現は同じ内容のもの。さらに(4)については環境に配慮したというカテゴリーの中にあるのはおかしいのではないか。

会長 ここで協議させていただいているのは、具現化していく形の次の部分であり、10年後、20年後の戦略を提言するものとする。各項目にメインとなる提言がほしい。

- E委員 各地域でいろんな課題があることを承知のうえで合併するのだが、現状ばかり語り合っ、夢が語れなかった結果ではないのだろうか。
- C委員 議事録からピックアップしてまとめるのでは、夢は語れない。委員が書かないからこういう当たり障りのない文章になる。
- B委員 意見が箇条書きとなったものを提出したほうがわかりやすいのではないか。
- D委員 箇条書きに強弱をつけ、報告してはどうか。
- A委員 中間報告書の間違えている部分だけを修正すればよいのではないか。
- B委員 最終的に委員各位が納得できるものはできない。分科会の統一見解としてはまとめられない。強調すべきところ、削除することを協議すべき。言葉足らずで、まとめにはならない。
- D委員 統一見解を出すには、徹底的に議論しなければならない。
- 会 長 今回の中間報告は、各分科会においてこういった議論がされているという報告であると聞いている。今回協議いただいた内容を踏まえ、中間報告書を修正し、意見が箇条書きとなったものと合わせて提出させていただくこととする。提言としては、もっと将来の展望を語ったうえで、1市6町が一緒になったことでさらに魅力の出るものとしなければいけない。各町のしぼりは抜きにして、もう一度、みなさんの想いを集約する場を次回設けさせていただく。